

# とうべつ

# 議会だより

# No 160

平成22年2月1日発行



みんなで食べるとおいしいね! 少子化の中、未来の当別を背負って立つ園児たち (当別幼稚園)

## 第6回 定例会

平成21年12月

議案審議	2~3
------	-----

クエスチョン? 一般質問	4~7
--------------	-----

当別町議会の紹介 (上)	8
--------------	---

会議出席一覧表	9
---------	---

# 平成21年第6回 当別町議会定例会

平成21年第6回当別町議会定例会は、12月15日から17日まで、3日間の日程で開催されました。町議会は初日に2件の議員提案と町から提出された平成21年度一般会計補正予算など10件の議案をそれぞれ原案のとおり可決しました。

また、16日と17日の2日間にわたり4名の議員が一般質問を行い、最終日には2件の委員会報告がなされました。

## こんなことが決まりました

○既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ一億八千六百七十四万八千円増額し、歳入歳出それぞれ八千四百八十九万五千円とする平成21年度当別町一般会計補正予算（第5号）

○既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ17千円増額し、歳入歳出それぞれ十億九千二百八十六万二千円

とする平成21年度当別町介護保険特別会計補正予算（第2号）

○既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ484千円増額し、歳入歳出それぞれ六千一万七千円とする平成21年度当別町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）

○既定の歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ232千円減額し、歳入歳出それぞれ九千八百二十九万四千円とする平成21年度当別町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）

○平成21年度当別町水道事業会計補正予算（第1号）

○社会保険の保険料等の延滞金を軽減するため、厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、当別町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正しました。

○社会保険の保険料等の延滞金を軽減するため、厚生年金保険法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律の

施行に伴い、当別町介護保険条例の一部を改正しました。

○当別町立養護老人ホーム長寿園の民営化に伴い、設置条例を廃止しました。

○北海道市町村備荒資金組合を組織する地方公共団体の数の増減を協議するため議会で可決しました。

○北海道後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の増減を協議するため議会で可決しました。

## 請願・陳情 審査報告

定例会初日、請願・陳情が提出され、3件の陳情が総務文教厚生常任委員会（岡野喜代治委員長）に、2件の請願が産業建設常任委員会（神林俊一委員長）にそれぞれ付託されました。

その後、産業建設常任委員会が開催され、付託された2件の請願の審査がなされ、その結果、産業建設常任委員会は定例会最終日に願意妥当と報告し、本会議で採択されました。

■陳情1番  
「最低保障年金制度の実現を求める」意見書提出についての陳情書  
【陳情団体】  
全日本年金者組合当別支部 支部長 井尻 昭彦  
当別町農民同盟 委員長 堀 梅治  
（総務文教厚生常任委員会に付託）

■陳情2番  
「後期高齢者医療制度のすみやかな廃止を求める」意見書提出についての陳情書  
【陳情団体】  
全日本年金者組合当別支部 支部長 井尻 昭彦  
当別町農民同盟 委員長 堀 梅治  
（総務文教厚生常任委員会に付託）

■陳情3番  
新・北海道石炭じん肺第3陣訴訟について「消滅時効」の援用に反対する意見書採択に関する陳情  
【紹介議員】  
神林俊一、小早川 孝男、市川 正、白杵 英男

【陳情人】  
新・北海道石炭じん肺第3陣訴訟原告団 団長 吉田 実  
新・北海道石炭じん肺訴訟弁護団 団長 伊藤 誠一  
2009年（第20回）なくせじん肺北海道キャラバン実行委員会 代表 吉川 正也  
同 牧田 智雄  
（総務文教厚生常任委員会に付託）

■請願1番  
平成22年度戸別所得補償モデル対策および関連政策に関する請願書  
【請願団体】  
北石狩農業協同組合 代表理事組合長 佐藤 彰  
株式会社辻野商店 代表取締役社長 辻野 浩  
当別土地改良区 理事長 山田 智  
篠津中央土地改良区 理事長 武田 八郎  
中新土地改良区 理事長 田畑 富美男  
当別町農民同盟 委員長 堀 梅治

全国町村議会議長会の創立60周年を記念して町村議会議員在職30年以上の規定に基づき、竹田和雄議長（在職30年）と柏樹正議員（在職34年）が特別表彰を受けました。



竹田議長（右）と柏樹議員（左）

## 《表彰》

岡野 喜代治、稲村 勝俊、  
柏樹 正  
（産業建設常任委員会  
に付託後、本会議で採  
択）

理事長 山田 智  
篠津中央土地改良区  
理事長 武田 八郎  
中新土地改良区  
理事長 田畑 富美男  
当別町農民同盟  
委員長 堀 梅治

■請願 2 番  
新たな食料・農業・農村  
基本計画に関する請願書  
【請願団体】  
北石狩農業協同組合  
代表理事組合長 佐藤 彰  
株式会社辻野商店  
代表取締役社長 辻野 浩  
当別土地改良区

【紹介議員】  
神林 俊一、小早川 孝男、  
市川 正、臼杵 英男、  
岡野 喜代治、稲村 勝俊、  
柏樹 正  
（産業建設常任委員会  
に付託後、本会議で採  
択）

## 議員提案

定例会初日、2件の議  
員提案が提出され、どち  
らも全会一致で可決され  
ました。

なお、定例会終了後に  
町議会は2件の議員提案  
の意見書をそれぞれ厚生  
労働省など関係機関へ送  
付しました。

■議員提案第1号  
さらなる緊急雇用対策の  
実施を求める意見書  
提出者 小野 広実

■議員提案第2号  
子どもたちの生命を守る  
ため、ヒブワクチン及び  
肺炎球菌ワクチンへの公  
費助成、定期接種化を求  
める意見書  
提出者 小野 広実  
【原案可決】

## 一般質問

一般質問は、2日間に  
わたって行われ、4名の

議員が登壇し町政をた  
だしました。詳しくは、本  
だより4頁から7頁をご  
覧ください。

## 平成21年第5回 当別町議会臨時会

平成21年第5回当別町  
議会臨時会は、11月26日  
に開催され、補正予算1  
件と条例3件が原案のと  
おり可決されました。

○既定の歳入歳出予算の  
総額に、歳入歳出それ  
ぞれ2,562千円増額  
し、歳入歳出それぞれ  
八十二億九千四百三十  
四万七千円とする平成  
21年度当別町一般会計  
補正予算（第4号）  
○当別町職員の給与改定  
のため条例等の一部を  
改正しました。

○当別町職員の育児短時  
間勤務職員の時間外勤  
務手当の支給方法を  
改定するため条例の一  
部を改正しました。  
○当別町職員の時間外勤  
務の代休制度を新設す  
るため条例の一部を改  
正しました。



## 議会を傍聴して みませんか

当別町議会は、定例会が定期的に3月、6月、9月、12月の  
年4回、また、必要に応じて臨時会が開催されています。  
とうべつ議会だより・議会日程等は町のホームページでも  
公開しています。http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/

# 一般質問

## 第5次総合計画推進の 取り組みについて



白木 和廣 議員

### 町長 計画に沿って 施策を実施する

**問** 従来型の役場目線での策定とは異なり、町民の意見をよく反映して策定された第5次総合計画（以下、総合計画）の推進にかかる取り組みについて問う。

総合計画がスタートして9カ月が経過したが、本町の人口は減少の1途をたどっている。少子高齢化の影響と見る向きもあると思うが、今後の町政施策の方向性について、町長の考えを伺う。

また、人口減少には働

く場が縮小していることも影響していると考えられる。働く場の確保の取り組み状況を伺う。

**町長** 西当別地域には未分譲地が相当数存在している。分譲地を販売し、転入者の増加を図るために電化・定住キャンペーンを実施したいと考えている。札幌市に隣接している地理的優位性とJＲの電化、商業施設や企業の誘致などが相乗効果となつて町の魅力をアップさせる。総合計画に掲げた農業を基軸にしたまちづくりだけではなく、現実的な施策を適宜、実施していきたい。

### 姉妹都市交流の あり方について

**問** 平成22年に当別町は開町してから140年を迎える。未来の発展に期待するという意味から記念事業を実施することは大切なことである。

国内外の姉妹都市の方々もお見えになり、町民とのふれあいや産業文化の交流はかけがえのない財産になると考える。記念事業や姉妹都市交

43回 続いている  
宇和島の伝統行事  
牛鬼まつり（右）



レクサンドと姉妹  
都市になり26年続く  
当別の夏至祭（左）

流の賛成の立場から是非とも有意義な事業になることを希望する。

そこで記念事業を通じて町民に伝えたいことは何か、どのようにメッセージを発信するのかを伺う。

**町長** 記念式典は10月9日から11日まで、3日間にわたり開催する予定で、姉妹都市のスウェーデン・レクサンド市、宮城県大崎市、愛媛県宇和島市にも式典を案内し、多くの町民の皆さんにも

町内外の伝統文化を理解できる取り組みを期待する

ご参加をいただき、先人の偉業をたたえ、当別町の未来に向けて元気なまちづくりの決意を新たにする事業にしたいと考えている。

平成22年中に行われる夏至祭や文化祭、その他スポーツ大会などのイベントには、当別町140年記念事業の名称を冠にして開催したいと考えている。

町の活力を持続するためにはイベントが最も大切だと考えている。

**農業政策について**

**問** 【仮称】農業振興公社（以下、公社）は、文字どおり農業を振興するためにもどうしても必要であると考えているが、先般、発足した当別町農業振興公社設立準備協議会（以下、協議会）の活動や公社のアウトラインが全く見えてこない。

公社は農・商・工の連携のみならず町民が関わる仕組みが必要であり、その取り組み方を早期に町民に示すべきと考える。公社の基本設計を伺う。

**町長** 公社には、新規就農者対策、有機農産物の販売など農業にまつわる色々な業務がある。

協議会では、これらの業務に取り組むのに必要な予算規模などを検討しているが、公社運営の安定化には時間がかかると思うので、一定期間は町を含め、JA北狩ほか構成団体からも支援をお願いし、最終的には町民や構成団体のみんながメリットを享受できるように、自立できる公社運営をしなければならぬと考えている。

乳がん・子宮頸がん  
無料検診の継続を



石川 和栄 議員

町長

国に継続要望

していきたい

問 乳がん・子宮頸がんから女性の生命を守るため、今回の無料クーポン券による検診が平成21年度の補正予算に盛り込まれ、一定の年齢に達した女性を対象に行われている。



乳がん、子宮頸がんから女性の生命を守るために

この無料クーポン券による検診が今回限りだと年齢が特定されているため一定のしか受けられない。該当するすべての女性が検診を受けられるよう、町として無料で受けられる女性特有のがん検診を来年度以降も実施するのか、考えを伺う。

町長 女性特有のがん検診推進事業は全国的に検診の受診率が低いことから、子育て支援の一環として国が平成21年度補正予算に措置し、本年8月の当別町議会で事業の補正予算を計上し、実施している。現在、子宮頸がん検診を20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の方々に、乳がん検診を40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の方々に検診を受けていただくよう、9月1日付けで個別に案内をしているとともに、町広報9月号、11月号でPRを行い、さらに平成22年1月にも周知する予定である。厚生労働省の平成22年度の予算概算要求では、女性特有のがん検診推進事業を継続実施するため114億円が計上されたが、現段

階では国からまだ通知が来ていないことから、町として継続していただくよう国に要望活動を行い、事業内容の変更や国庫補助等の財源などの動向を見きわめながら、町村会などと適切な対応をとって進めていきたい。

高齢者や障がい者に優しい行政サービスを

問 つえを利用する高齢者や障がい者が安心して役場やゆとろ（総合保健福祉センター）などの公施設に通えるよう、思いやりのある行政サービスに向けて役場一階の住民課をはじめ、申請書類を記入するカウンターや窓口につえを立てかけられる器具を設置してはどうか、考えを伺う。

町長 公共施設の窓口には各種手続、相談のために多くの高齢者や障がいを持った方々がお見えになるが、町は親切的な対応を心がけている。高齢者や障がいを持つ方にとって、つえは体の一部であるとのことから窓口カウンターの形状を配慮し、滑り止めのマットを試行

的に設置したいと考えている。よりよい方向に向けて検討の成果が得られるよう配慮していくのでご理解いただきたい。

学校施設のガラス飛散防止対策について

問 学校の耐震工事の一つとして定着したガラス飛散防止フィルムは、地震などの災害や児童の衝突などによってガラスが割れた場合でも破片が周辺に飛び散らない効果がある。また、紫外線をほぼ完全にカットする特性があるためエコ改修にもつながる。

学校は児童・生徒だけでなく、災害時には地域住民の避難所にもなる大事な場所である。安全を確保するためにも導入す

る考えがあるか、伺う。  
教育長 飛散防止フィルムを設置すると大規模校で約2千万円程度の事業費が必要である。

学校施設の老朽化に伴い、ほかに緊急度の高い修繕・改修を要する懸案事項もあることから、財政状況を踏まえ、中長期的な取り組みが必要であると考えている。

当面、学校施設の整備は、地震防災対策特別措置法に基づく平成22年度までの限定的補助率高上げを活用しながら、先ず、事業費が高額となる耐震補強関連工事を第一優先に、老朽化に伴う施設の改修など、優先順位を見きわめながら検討していきたいと考えている。



安全性確保のために  
ガラス飛散防止対策を

人口減少の歯止め策は



後藤 正洋 議員

町長 我々みんなが努力しなければならぬ

問 第5次総合計画（以下、総合計画）の想定人口の2万人が既に1万9千人を切り減少傾向にある。これに対する早急な対応と総合計画の個別計画の優先度・達成順位を考え、民意を尊重してその実施を確実なものとする事が重要と考える。

総合計画の一つの具体策として、学生の居住を促進するための町づくりについて、早急に対応しなければならぬと思う。学園都市線が電化され、利便性が向上すると益々定住しないことが懸念されているが、検討はどの段階まで進んでいるのか伺う。

町長 学生の町内居住の促進は、アパートやマン



学生居住の促進を検討すべき（北海道医療大学）

シヨンのなどの家賃が札幌と当別とで大きな差がなければ、ほとんどの学生が札幌から通学することを選んでしまうと考えられる。

平成12年度に5割以上あった学生の町内居住率は年々低下し、現在、6割の学生が札幌から通っている深刻な状況になっている。アパート組合のみならず商工会全体で検討していただきたい問題だと考えている。

商店街活性化の早急な取り組みを問 町は農産物のブランド化などを通してまちのイメージアップを図り、功を奏していると考え、実際に生活する上で魅力アップをいかに具

体化するかが問われると思う。

とりわけ商工振興はその要と考えるが、人口の維持を目的とする具体的な取り組みや、中長期の商工振興策についてどのように考えているのか伺いたい。

また、総合計画にある商店街活性化基本構想とその推進協議会について、現状を打破するため早急に取り組まなければならぬと思うがどうか。

町長 地域経済の活性化を図るために商工業の発展は欠かすことができないことは言うまでもないが、商工会、商店街と町とで十二分に協議をし、新たなアクションを踏み切る時期だと考える。

一部商業者は、自助努力によってアイデアを出しているが、購買力を増強するためには商業者全体が一枚岩になることが不可欠だと考える。

今後、町としても色々和助言をしたいと思っているので商業者や商工会は新しい方法に挑戦してもらいたいと考える。

新教育長の抱負は問 新たに就任された山内教育長は西当別小学校の校長時代、地域の伝統や文化を大切にすることが子供達を熱心に教育されたと伺っている。

9月の就任当初の教育行政執行に対し、重視する基本的な考えと取り組むべき課題をどのようにとらえているのか。

また、児童・生徒個人の向上心や全体としての公共心など、将来子ども達が社会を發展させ、秩序を維持していくための義務教育をどのように実践していくこうとするのか伺いたい。

教育長 当別町の総合計画や教育目標の実現を目指し、本町の教育課題や特性等を踏まえながら、学校、家庭、地域社会が連携、協力して知恵や工夫、力を出し合い、それぞれの教育力を高め、活力と



子どもたちが社会を發展させる義務教育を実践せよ

潤いのある確かな教育を推進していきたいと考えている。

次に、児童生徒には思いやりの心や規範意識、公德心、コミュニケーション能力などの豊かな心を育成するために、学習、生活規律の定着やボランティア活動等の体験活動を重視した心の教育を進めることが大切である。

また、向上心を育て将来社会の秩序を維持し、發展させていく力を身につけていくために一人一人に自分の夢や目標を持たせ、その実現を目指す指導、集団や活動の質を高めていく取り組みを、教育活動全体を通して充実していきたいと考えている。

町立西保育所の存続を求める



柏樹 正 議員

町長  
幼稚園・保育所計画に沿って進めていく

問 当別町予算編成の基本的視点について、国の予算で住民負担の増加が予想されるが、町の予算においては住民負担増にならないようにすること。

第2に、安易な民営化、廃止などは行わず、公共サービスの維持に努めること。町立保育

所の果たす役割は大事であり、子どもの人口増を見据え本町地区一カ所だけの民間保育所にせず、西保育所は町立として存続を追求していく努力を期待する。夢を持って資格取得をした



廃止には慎重な対応を（町立西保育所）

保育士が希望を持って町立保育所に就職したのに、民間に移るか別の仕事につかざるを得なくなるという苦悩を考えると、国の制度改善を強く求めながら、公立保育所は残すよう努力、検討すべきであり、平成26年度廃止を検討するとの西保育所は、その観点からも拙速に廃止を結論づけることのないよう求める。

第3に、安心、安全の町民生活を支える町政の立場から行政執行に当たって町民の不安の解消に努めること。

第4に、緊急対策として経済対策、雇用の問題について切実な状況は続くと思われ、身近な公共

事業の発注で雇用の確保と、町内の中小商業に対する支援策を強化すべきと思う。

以上について、編成上の力点、留意点とされるよう要望し、町長の考え方を伺う。

町長 町は、たくさんの方の意見が寄せられた第5次総合計画の重点プランの中で民間活力による新しい幼児教育、保育環境の創出を取り組もうとするものである。

十分に議論したことであり、安易に民営化することを決定したわけでもないし、安上がりによいという目指しているものでも断じてないことをご理解いただきたい。

事業仕分けについて 問 民主党政府の事業仕分けは、その項目が公正、適切なのかという問題と国民生活関連事業や中小企業対策の廃止、縮小を一方的にされてきている感がある。当別町の行財政への影響と、国に対してどのような態度、決意や見通しで臨まれるのか伺う。

町長 今は政権交代後の過渡期なので、しばらく民主党政権の動きを見守りながら、地方の考え方を聞いていただく努力を続けることが必要だと考えている。

今後、国の予算が明らかになるにつれて、事業仕分けによる影響が判明するが、現行の補助内容が後退することなく、町の財政や地域の実情を反映するものになるよう、党の幹事長や要人等にも説明に行くことを続けたと思っています。

学校の安全性確保を

問 来年度の重点として耐震工事の課題があるが、日常の学校生活上の安全対策など危険なところ、生徒や先生が不安に感じるところがあれば早急に手当てが必要であり、耐震工事待ちにせず対応すべきである。

災害時の避難所としての位置づけもあるが教育長の考えを伺う。

教育長 本町の学校施設は昭和40年代から50年代に建設された建物が多いことから老朽化が進んで



総務文教厚生常任委員会の学校施設の町内視察（当別中学校体育館）

おり、緊急性の高い箇所である生徒玄関ポーチの天井の補修や漏電等の危険性が高い電気制御盤の入れかえ、トイレの換気扇設置などを行った。

地震防災対策特別措置法に基づき、耐震補強関連工事を最優先とし、大がかりな改修は財政状況も踏まえ、優先度を見きわめながら検討していきたいと考えている。

なお、日常的な学校生活を送る上で危険や不安を感じる箇所の修繕、補修はこれまで通り可能な範囲で対応していく。

# 当別町議会の紹介 (上)

今号と次号の2回にわたり、当別町議会の紹介をします。今号は町議会に設置されている各種委員会を紹介します。

## 【議会運営委員会】

7名の議員で構成され、町議会が公正・円滑に運営されるよう話し合いを行い、議長の諮問に応じるほか、議案や\*請願・陳情などをこの常任委員会に付託(振り分け)するかを審査します。

【本会議と委員会】  
町議会の審議機関には、議員全員が集まって行う本会議と議長の指名によって選任された委員で構成される委員会とがあります。

## ※請願・陳情

住民が行政に対して何かを要望することです。請願をする場合はその内容に同意して署名する議員(紹介議員)が必要ですが、陳情の場合、紹介議員は不要です。

請願・陳情はいつでも受け付けていますが、定例会ごとに受付期限があります。町議会では、その後どのように処理されたのか、結果報告を各提出者へ通知しています。

## 【常任委員会】

町議会の常任委員会には総務文教厚生常任委員



昨年12月に行われた町内所管事務調査(改修されたみどりヶ丘墓苑)

は経済部、建設水道部、農業委員会の所管事項を担当しています。

## 【特別委員会】

町議会の特別委員会には、議会広報特別委員会と学園都市線電化促進特別委員会があります。

6名の議員で構成される議会広報特別委員会は町議会の活動状況を周知し、議会活動に対する理解と協力を得るため、議会広報誌の編集に取り組んでいます。

8名の議員で構成される学園都市線電化促進特別委員会はJR学園都市線の電化について、早期実現を目指し、強力な活動を展開していくために昨年6月の定例会で議員提案により設置されました。

このほか、新年度予算を決定する3月の定例会中に設置される予算審査特別委員会と前年度決算が認定される9月定例会中に設置される決算審査特別委員会があります。

1・8  
1・15  
1・20  
1・22

H22 1月

12・25  
12・21  
12・16  
12・15  
12・15~17  
12・8

12月

11・26  
11・25  
11・13  
11・10~12

H21 11月

11・5

# 議会のひびき

(平成21年11月~平成22年1月)

当別町議会議員会研修

(ゆとり)、「認知症サポーター養成講座」

宮城県大崎市議会来町

第53回町村議会議長全国大会

愛媛県宇和島市議会来町

総務文教厚生常任委員会

平成21年第5回臨時会

産業建設常任委員会

総務文教厚生常任委員会

議会運営委員会

平成21年第6回定例会

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会

学園都市線電化促進特別委員会

総務文教厚生常任委員会町内所管事務調査

(みどりヶ丘墓苑、当小、当中、西当中)

新篠津村議会来町

議会広報特別委員会

学園都市線電化促進特別委員会

議会広報特別委員会

議会運営委員会

# 当別町議会 会議出席一覧表

(平成21年1月～12月)

平成21年6月8日に委員会の改選がありました。

○印……出席 ×印……欠席 空白……該当なし

会 議														常任委員会			特別委員会					
	3・10 第1回定例会	3・12 〃	3・18 〃	6・8 第2回定例会	6・9 〃	8・7 第3回臨時議会	9・11 第4回定例会	9・14 〃	9・15 〃	11・26 第5回臨時議会	12・15 第6回定例会	12・16 〃	12・17 〃	議会運営委員会	総務文教厚生常任委員会	産業建設常任委員会	議会広報特別委員会	学園都市線電化促進特別委員会	H21年度予算審査特別委員会	H20年度決算審査特別委員会		
議員名														(改選後6回開催) (改選前6回開催)	(改選後8回開催) (改選前3回開催)	(改選後6回開催) (改選前3回開催)	(9回開催)	(4回開催)	(4日開催)	(3日開催)		
洞内 真由美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		8	3		9		4	3	
稲村 勝俊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		3		6	9	4	4	3	
石川 和栄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		3		6	9		4	3	
臼杵 英男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	11	8	3		9		4	3
小早川 孝男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			3	6	9		4	3	
桑内 雅彦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		2		6	7	4	4	3	
神林 俊一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	3		6			4	3	
白木 和廣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		8	3			3	4	3	
岡野 喜代治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	11	8	3			4	3	
市川 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		11		2	6		4	3	
桐井 信征	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	11	8	3		4	4	3	
小野 広実	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	11	3		6	3	4	3	
島田 裕司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		3		5			4	*1	
後藤 正洋	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	3	7			4	3	3	
柏樹 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	11	8	3		4	4	3	
高谷 茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	11	3	8		4	4	3	
竹田 和雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	11	3	7	3	5	4	*2	*2

\*1 島田議員は議会選出の監査委員のため、決算審査特別委員会には入っていません。  
 \*2 竹田議長の常任・特別委員会の出席はオブザーバーとして対応しています。また、予算・決算審査特別委員会には入っていません。



撮影・提供：平出 理三郎 氏

### 銀世界の暁（明け方）

冬のある朝、日が昇る時刻とき

歯を食いしばって生き抜く

安心立命を誇るが如き

銀世界に強き樹木

彼方に雪山がみえる

雪深き光線の降る

「春を告げん」しんこころ

あ  
と  
が  
き

今年は今別町140年を迎える。極

寒の地で極限の状況の中で戦った先人

達の偉業ゆえに現在の当別町がある。

今、世界は百年に一度という経済危

機にある。闇が深いほど試練の冬に負

けない「心」が大事だと思つ。

議会広報特別委員会  
(石川副委員長)

私・の・好・き・な が あ・か・つ・き